



2009年8月

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## リハビリと透析のこと

偕行会リハビリテーション病院 副院長  
名古屋共立病院リハビリテーション部 部長  
田丸 司

徐々に夏の暑さとなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。透析を受けておられる皆様におかれましては、これから体調を整えるのに 気を遣う時期となってまいりました。

私は、偕行会リハビリテーション病院、名古屋共立病院にて勤務しており、専門分野としては「神経内科」と「リハビリテーション」を担当しております。今回は私の担当している病院の様子や、担当分野について簡単に紹介させていただきます。

偕行会リハビリテーション病院は、その名のとおり「リハビリテーション（以下リハビリ）」の専門病院として、平成14年9月に弥富市（開院当時は海部郡十四山村）に開院いたしました。ここで行われるリハビリは、「回復期リハビリ」といって、脳卒中や骨折などの大きな病気やケガからの復帰の際に、急性期病院で初期治療を受けた後、数ヶ月のリハビリ治療を入院

